

24年度事業報告書

特定非営利活動法人 ウエルス

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

《広報》

「鳥取方式®による芝生化」のモデルケースとして、本事業を行うというスタンスで事業を行って参りましたが、実際に見てもらうこと、実際に触れてもらうことが出来る「現場」が出来たことは大きな前進です。また、広報活動においても講習会やイベント参加の方々が口コミで活動を紹介して頂いたり、様々な利点をもつ「鳥取方式®による芝生化」の活動を続けていくことで、地域のつながりのあり方についても、従来とは違った角度からのアプローチにつながっています。

篠町と言う場所での活動の中でも、地域の方々とのふれあいや、近隣のNPO法人が自然をテーマに児童の健全育成に取り組まれており、お互いがそれぞれの分野で得意分野を活かしながら連携を深めています。平成25年度は共同イベントを開催する予定です。幼児の体力向上を目指して活動されている団体との連携もはじまりました。

24年度の地域力再生事業の看板も大きな影響があり、「京都府から認証を受けた事業」という信用は地域であっても、他の団体との連携であっても、大きな武器となっています。特に地域に根差した活動を長年行ってきた団体からも、あらゆる面で協力して頂いています。京丹波地域という枠の中で、様々なイベントにも招待されたり、「鳥取方式®による芝生化」を行っている団体としての認知度も進みました。

『実例』

ホームページのアクセス数 平成23年度 389 平成24年度 3997

お問い合わせメール 平成23年度 2件 平成24年度 122件

具体的に進んだ芝生化及び依頼 関西電力・くわの実保育園・しのむら幼稚園・もぐら農園

実際に見て、触って実感できる芝生化事業の場所の整備が出来たことで、理念や理想だけではなく具体的に紹介出来て体験してもらえることが出来るようになりました。行政機関へのアプローチはこれからですが、過去の反省も踏まえて私たちの活動を今後も広く知って頂くための広報活動にも力を入れていきたいと思っています。

《農園》

有機農業事業については、「就農希望者や発展途上国などからの研修生との「橋渡し」と「農業技術指導」を行うことで、地元農業の活性化を図る。」事業については取り組むことが出来ませんでした。従来から行っている「南丹元気ファーム」においては、各種の野菜を育てボランティアスタッフの技術向上に役立っています。収穫した野菜の販売は、収穫量が少ないこと、販売ルートが確立出来ていないことから、24年度は実施していませんが、25年度は旭町の第2農園で、品目を限定して栽培・販売まで行いたいと思います。

《芝生化》

○鳥取方式®の芝生化の普及・推進活動

ワークショップ的な講習会を24回開催した。（詳細は別途チラシ）その中で、新たな共感者や理解者を得ることが出来、他のNPO団体等との連携や共同でのイベントを開催することが出来ました。

○芝生生育技術講習会

篠町の事業地内で芝生育成について、「グリーンキーパー」から技術指導を受けながら、芝生の苗付けから、育苗、刈り込みなどについて学ぶことが出来ました。その活動を造園業者の方が協力して頂けたのは、本来、相反する利害を超えて芝生の効果を理解して頂けたと思います。鳥取ではすでに地元造園業者と共に活動をしています。私たちの活動が今後さらに展開できる手ごたえを感じました。

○休耕田の芝生化（無償）による「人と人との活動・交流の場」の創出

・フリーマーケット等のイベント、裸足で遊べる庭園等に使用し、交流の場を創出については、地元自治会との協議の中で、近隣で不幸な事故が発生した関係から、派手なイベントは控えることとなり、小規模な交流会を行いました。また、事業決定の時期と芝の生育時期のズレから、芝生本来の青々とした芝生の上を歩くなどはほとんど出来なかったことが残念です。しかし、近隣住民の方々からは以前の放棄地として雑草だらけであった場所が、見違えるような「広場」になったことに、驚き、感心されていました。

・障害者雇用を創出（芝苗の育成、維持・管理）

については、亀岡共同作業所の方々の協力や当NPO法人のスタッフである障害者の方々と共に育苗から植え付けを行いながら、障害者の就業につなげることが出来ることを確信することが出来ました。

- ・環境教育（地元幼稚園児に苗植えから協力してもらい、芝生の成長過程を学ぶ）

については、隣接である「しのむら幼稚園」との共同イベントととして、園児と共に植え付け作業を行いました。（別紙添付・新聞記事）タイミング的に植え付けの最適時期を超えていたために、その成長を見守ることが出来なくて残念でしたが、植え付け作業を園児と行えたことで、保護者や近隣住民の方々に芝生を植えることが単に「緑化」だけの意味ではないことに気づいて頂けたと思います。

その他の活動の詳細については、講習会資料や写真等を添付致しました。

《高齢者・障害者就労支援》

喫茶店の運営を行い、障害者就労支援事業の活動を行って参りましたが、その分野の広がりの中から、地産地消、無農薬、有機栽培、農業、、、と言うキーワードで様々な方が当NPOの活動に対して興味をもたれ、その後本体事業である「鳥取方式®による芝生化」について、講習会やイベントへの参加をされています。自宅の庭に芝生を植えてみたい。芝生の苗を分けて欲しい。などなど、確実に私たちの活動が拡がり初めています。

《権利擁護事業》

24年度から「ばあとなあ 京都」に登録、京都家庭裁判所に名簿登録し、現在2件の受任で活動しています。

（２） 特定非営利活動に係る、その他の事業

《介護保険事業》

24年度の実績として、要介護者3名、要支援者1名を担当し、居宅介護支援事業所として活動しております。

「鳥取方式®の芝生化についての講演会」報告書

平成24年10月、11月、12月、平成25年1月、2月、3月 計6回

参加人数

日付	人数	日付	人数	日付	人数
H24.10 .6	10	H24.12 .1	8	H25.2 .2	5
.13	6	.8	11	.9	8
.20	22	.15	3	.16	14
.27	14	.22	4	.23	15
H24.11 .3	3	H25.1 .5	2	H25.3 .2	9
.10	11	.12	5	.9	8
.17	5	.19	4	.16	7
.24	5	.26	3	.23	13

参加者名簿（重複参加者あり）

荒尾洋一郎	山田建設株式会社（京丹波町）
今出清子	京都中部建築(亀岡市)
松村佳久男	KAKUO（一級建築士）下京区
足立真由子	〃
岩崎基造	株式会社イワサキ（大阪市）
小島茂樹	株式会社エコファクトリー（熊本県）
山田康己	平安建材株式会社
森英雄	NPO法人 未来の子供たちの為の環境浄化の会 もぐら農園
三浦 俊	(社)京都府サッカー協会
小池直弘	京都新聞社
村尾加奈子	あろまの森（南区）
坂本辰之	NPO法人 アシスト(亀岡市)
山本潔	NPO法人 みずのえ（下京区）
大橋通夫	寿光学園
山本和正	株式会社 ファインテクニカル（上京区）
今泉佑太	アイマージインターナショナル株式会社（千葉県）
宮西 弘樹	株式会社コーンズ
滝澤 孝一	公務員

弓削田文則	株式会社ジー・クリエーション
須田 みち子	公務員
政 隆行	株式会社 九建設計
三浦直樹	(株)医療介護福祉ネットワーク事務局（神戸市）
須藤 辰美	公務員
笠井儀夫	第三かめおか作業所
脇坂武志	しらゆきの森
谷口洋子	（医）亀岡病院
山崎忠文	NPO法人 自立支援センターかめおか
江藤 美智子	保育士
平塚 礼子	保育士
木曾卓宏	株式会社 イング
伊藤博隆	ファザーズ・ファーム
白濱智美	NPO法人 中小企業家コンソーシアム京都（中京区）
井内美智子	個人（ネット申し込み）
下村康夫	個人（ネット申し込み）
林 昌子	林 農園 （八木町）
松本崇寛	有限会社 京都スポーツ教室亀岡
宮川 成雄	個人（チラシ）
松本宏美	食の農をつなぐ会
田中美賀子	NPO法人 亀岡子育てネットワーク
清田 達夫	個人（チラシ）
隅田 恵子	特定非営利活動法人 森と農園のあるくらし
並河 良治	個人（チラシ）
倉橋 賢	社会保険労務士
平本 英之	個人（チラシ）
中川重年	京都学園大学 教授
岡野聡子	環太平洋大学 講師
今海美紀	保育士
竹之下萌愛	ぐるりの家 保育士
山下由美子	保育士
桂川たかひろ	京都府議会議員
山下澄夫	南丹市議会議員

鳥取方式®の芝生化についての講演会の開催について、当初は会場を借り上げて実施する予定でしたが、障害者就業支援事業として平成24年6月からオープンした喫茶店（カフェ）がありましたので、そこを会場として使用致しました。

また、相乗効果としてカフェのお客様などにチラシを配布したり、パンフレットを渡して、当法人の事業の内容を説明したり講演会への参加を呼び掛けたりすることが出来ました。

講演の開催日は毎週土曜日の午後7時からとし毎月4回、カフェの閉店後に設定し、講演の内容は、毎月同じ内容で実施致しました。一応月4回を1クールとしておりましたが、毎週参加できる方も少なく、聞けなかった内容を翌月に聞くことが出来るように配慮致しました。

第一週 「鳥取方式®」

第二週 「鳥取方式®の芝生化の実例」

第三週 「亀岡市（南丹地域）における芝生化」

第四週 「総括質疑（質問会）」

の内容で実施致しましたが、実際に参加された方の多くは、どの回においても多くの質問をされ、毎回は質問会のような状況でした。

講演の方法としては、基本的な内容をNPO職員が行い、専門的な内容については講師である、森造園土木の森氏から説明をするという形で行いました。また、資料を配布し、パワーポイントを使用して説明を行ないました。

先述したように、講演参加の呼び掛けにチラシの配布を行ったこともあり、多種多様な方々が参加されたことはうれしい限りです。また、参加された方からの口コミでの広がりもあり、今回のプロジェクトの成果としては何よりも事業の内容を広く知って頂くことが出来たと思います。具体的な提案や見積依頼などの話もあり、芝生化について誤解されていた方も積極的に推進下さるようになりました。

参加者同士の交流や意見交換の場になっており、今後も継続的に開催していきたいと考えています。

提案・意見・質問集約

- 芝生化と緑化の違いが理解できた。
- 地球温暖化抑制やCO₂削減が目的だと思っていたが、教育的側面を重視していることに驚いた。(設計士)
- 児童の成長にとっていろんな効果が期待できると聞いて是非と取り組みたいと思った(保育士)
- 芝生のグラウンドづくりのポイントは
- 芝生は高いと思っていたが、こんなに安く出来るとは思っていなかった。
- 自分たちの手で植えて育てることから始まって、その芝生の上で走り回る子供たちの姿を思い浮かべてうれしくなりました。(主婦)
- 行政との連携が出来ればもっと拡大していくと思う
- 資料にある『芝は英語でグラスといいます。それは草という意味です。芝生は芝や草(雑草)など種類を問わず、それらを刈り続けることでできた絨毯のような形状です。だから、芝生は自動車という言葉と一緒に考えると考えてください。自動車にはロールスロイスのような高級車から、中古の軽自動車という風にピンからキリまであります。でも日本人が芝生と考えているのは高級車ばかり。それで芝生化は「高い」と考えられている。では、運転免許を取ったばかりの子どもに高級車は必要ですか。という説明が大変わかりやすかった。
- 京都大学のラグビー場に普及しているとはしなかった。もっとピーアールすべきではないか
- 芝生の維持管理にどれぐらいの費用がかかるのですか
- 維持管理作業はどのような作業がありますか
- 土の感触を味わえなくなってしまうのでは？ 足の裏には適度な硬さを踏み支える力が必要と考えるがいかがなものか
- NPO同士の連携を深めて、それぞれの団体の特性を活かした活動が出来れば良いと思う。
- 従来のような観賞用の芝生並みの管理を専門業者に任せると、維持費だけで年間かなりの負担になるが、芝刈りなどの作業をある程度自分たちで行えば費用を抑えることができると思います。
- 障害者の就労として、芝生化を進めていることは全く知らずに参加しましたが、従来のような農業とは違う作業を年間を通じて行えることに感銘を受けました。これからもっと拡大して多くの障害者が働ける環境を作ってください。
- 造園業者の仕事請け負う形で拡大する方法を検討してみてもどうか
- 亀岡市から補助金などを受けてもっと広報を行って、市の持っている土地な

どを芝生化してはどうでしょう。

- 市内の小学校や保育園などで取り組むべきだと感じました。
- 野球などのスポーツには向いていないのではと思っていましたが、説明を聞いて納得しました。

等々の意見や質問などを頂きました。

その他、多くの方から様々な意見を頂き、私たちも大きな励みとなりました。
25年度はさらに芝生化に取り組んで頂ける方、場所を拡大していきたいと思っています。

事業対象地（亀岡市篠町）



2012.7.17 雑草畑を草刈直後



2012.7.17 雑草畑を草刈直後



2012.7.17 雑草畑を草刈直後



2012.8.3 重機を使って木の根や竹の根を掘り起こして整地、手作業で残った根を除去



2012.9.7 しのみら幼稚園の園児と植苗



2012.9.7 しのみら幼稚園の園児と植苗



2012.9.7 しのみら幼稚園の園児と植苗



2012.9.7 しのみら幼稚園の園児と植苗





2012.11.12 植苗後の芝刈、ふゆみどり（冬芝）の種蒔き前の作業



2012.11.12 植苗後の芝刈、ふゆみどり（冬芝）の種蒔き前の作業



2012.1.8 新しい芽がでました。



2012.1.8 全体的には茶色く枯れているように見えます



2013.3.3 雨が降り続いたせいか、一気に成長しています。



2013.3.8 雨の中、スタッフが肥料を散布



2012.12.15 学園大学 バイオ環境学部との交流



2012.10～2013.3 毎土曜日の講習会の様子

(社会福祉士会中部支部とのコラボ)

グリーンキーパーによる講習会（学習会）



講師（山本さん）と友人・知人が参加（シルバー人材センター・亀岡市緑化協会の方々）



子供たちもたくさん参加してくれました。

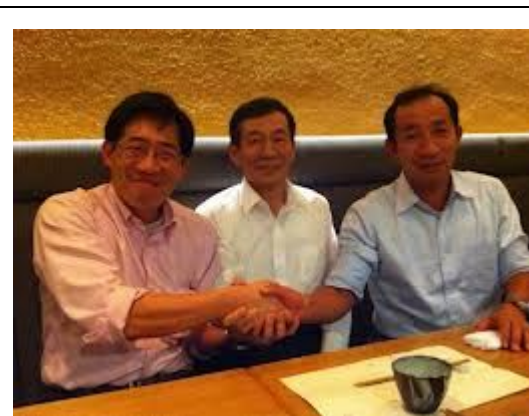
島田さんによる講習（本梅町）



山口さんによる講習会（神前町）



鳥取市都市整備部都市計画課の方々と一緒に（第2回鳥取方式芝生アカデミー研修）



鳥取市の現状についてお話をお聞きしました（スタッフと一緒に）



鳥取市民グラ（元プロ野球選手黒木さん）

乗用型芝刈機の実演風景

篠町でのイベント（事故の関係で規模を縮小） 2012.10.7



鳥取方式による芝生化事業講習会風景（於：Café・桜梅桃李）



実際の芝苗を使った講習



引きこもり支援の方々も講習会に



副園長の声かけで、若手の保育士と
実習生の方々も参加されました。
(いつもの雰囲気が一変)



参加者が少ない時は座卓で質問会



講習前後の打ち合わせ（スタッフ会議）



サッカー関連の方々が参加した講習会



有機農業を行っている大阪の NPO 法人の
方々と

今後、芝生化を計画している予定地



芝生化の相談があった「くわのみ保育園」

「南つつじヶ丘の空き地」



芝生化の相談があった {旭町}